

令和3年度 終業式・離任式

3月24日（金）終業式と離任式が行われました。

終業式では、校長先生からの講話、離任式ではお別れの挨拶や花束贈呈、最後は、記念撮影を行い、大変良い式となりました。



大橋 一夫 校長先生 → 鷹栖高校へ

令和の始まりから3年、興部高校の生徒の皆さんと共に過ごした日々はたいへん充実していました。それは、可能性に満ちた皆さんと出会えたからです。特に、授業をはじめ人の話を聞く姿勢の素晴らしさ。今まで私が接したどの学校の生徒よりも、皆さんは勝っていました。インプットした情報を表現すること、アウトプットすることで可能性の扉は開きます。皆さんが活躍するのは、世代を超えた多様な人々と協働し、最適解を導き出す社会です。高校生活を通してインプットした情報を存分にアウトプットしてください。地域を担う人材として成長した皆さんと、再会できる日を楽しみにしています。興部町での3年間は、心あたったかな方々との出会いに支えられた日々でした。興部高校の教育活動にご支援ご協力いただいたことに、この場をお借りしてお礼申し上げます。

澤向 亮賢 教頭先生 → 釧路東高校へ

思えば新型コロナウイルス感染症にいろいろと影響を受けた2年間でした。そうした中、生徒も先生方も、いろいろと工夫しながら学校活動をしていただきました。この場を借りて感謝申し上げます。興部高校生に対する第1印象は、授業など先生の話に耳を傾け真面目に取り組む姿です。当たり前ですが、大事な姿勢です。充実した高校生活を送って下さい。次は釧路に行きますが、赴任先で生徒の皆さんの活躍を心より応援します。短い間でしたが、お世話になりました。

増田 擁 先生（英語）→ 海星学院高校へ

突然のことですが、このようなことになりました。私が勤務してきた学校の中で一番素直な興部高校の生徒の皆さんと一緒に楽しく英語の授業や部活動ができました。ありがとうございました。もっとやりたいところでしたが。卒業は次の人生へのスタート、会うは別れの始まりと言えば演歌みたいですが、別れもまた次の始まりです。新しい英語の先生と力いっぱい勉強して力をつけてください。私も次の学校で全力投球して今より若返ります。「人間到る所に青山あり」といいます。

See you again.

池田 誠 先生（英語）→ 深川東高校へ

この3月末をもって興部高校を離れ、4月からは旭川の西、深川市の北海道深川東高等学校で働くことになりました。商業科と農業科のある学校。新たな環境で、新たな顔ぶれと英語の授業やその他もろもろ。楽しみです。ここ興部高校が（実質的に）私の高校教員生活はじめての学校でした。生徒のみなさん、保護者のみなさん、地域のみなさん、そして職員室の仲間の先生方からは、この4年間、本当にたくさんの大切な学びを得ました。ありがとう。3年間をともにした3Aのみなさん。卒業式の日、うれしいメッセージをありがとう。3年間いろいろみんなで奮闘してきて、最後に報われた気がしました。その他のみなさんも。みなさんとの授業や部活、その他の行事、とても楽しかったです。まだまだ興部高校はみなさんの手で盛り上がっていきますよ！ みなさんのことを目や耳にすること、遠くから楽しみにしています。学びについて。何のために学ぶのか、迷子になっている人はいませんか。そんな人はぜひ、「他者のために学ぶ」という観点を持ってください。友人や恋人、（現在・将来の）家族、患者やお客さん、あるいは動物など。あなたを必要とする人やものを助ける力をもつために。誰かの「まさか」を救うささやかなヒーローになるために、ぜひ学んでください。世界が、あなたがいま学ぶことに期待しています。みなさん若者からは「大人ってつまんねえ」ように見えるかもしれませんが、断言します。本気で大人をやるのは、案外悪くない。少なくとも、私の30代後半のみなさんとのこの4年間はとても楽しかったです。「オトナはサイコー！ 青春続行！ 人生を背負って大ハシャギ」。私の大好きな札幌出身のバンド、怒髪天（どはつてん）の「オトナノススメ」という曲の歌詞です。ではまたいつか！ さようなら。

伊藤 航 先生（保健体育）→ 遠別農業高校へ

1年間という本当に短い間でしたが、お世話になりました。この1年間を振り返ると「タラレバ」な1年でした。この時〇〇していたら・・・あの時〇〇していれば・・・と失敗続きの毎日でしたが、興部高校の皆さんのおかげで乗り越えられたと思います。体育や保健の授業、部活動、生徒会、スポーツフェスティバルなど、今となっては懐かしく良い思い出ばかりです。これも皆さんの努力や頑張りのおかげです。ありがとうございました。興部から更に北上しますが、皆さんのことは忘れず、エネルギーに頑張ります！

平成22年から3年間、令和元年から3年間の計6年お世話になりました。
35年の学校生活で、興部高校ほど生徒のみなさんが身近に感じられた学校はありません。3年間で大きく成長し羽ばたいていく姿を、目を細めて眺めていました。
また、一人相撲ではありますが、この歳になっても高校生に負けられないと密かに頑張り続けていることもあるんですよ。いつも刺激をもらっていました。
皆さんは、若く可能性は無限大です。でも努力なくして才能は開花しません。何事も一人前になるには1,000時間、一流になるには10,000時間必要だと言われています。この法則を皆さんにお伝えして、老兵は去って行きたいと思います。

4年間ありがとうございました！本当に、興部高校の教職員、生徒、保護者の方々には感謝しかありません。皆様のおかげで何とか4年間頑張る事ができました。この感謝の気持ちを忘れずに次の学校でも自分らしく頑張りたいと思います。

